



西栗倉中学校だより
令和8年1月13日(火) 発行



15の春の自立を地域とともに目指す活力のある学校

(学校教育目標)

未来を拓き たくましく生きる力の育成 ～ 自律 協働 挑戦 ～

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

西栗倉村全体の教育目標には、「学びを楽しむ」という言葉があります。これは、村の目標である「生きるを楽しむ」から生まれた表現です。この考え方は、中学校の最上位目標である「15の春の自立」に向けた「活力」や、本校の学校教育目標「未来を拓き たくましく生きる力」にもつながっていると、日々感じています。

さて、一人の大人として、子どもたちから「自分は中学校時代、学びを楽しめていましたか」「それはどんな場面でしたか」と問われたら、どのように答えるでしょうか。振り返ってみると、教科の授業以上に、生徒会活動や部活動など、自分から主体的に関わっていた場面が思い浮かぶ方も多いのではないのでしょうか。そこには、「自分自身がどれだけ主体的に取り組んでいたか」が、学びの「楽しさ」に大きく関係しているように思います。

現在の学校では、各教科の授業においても、生徒が一人で考えたり、ペアやグループで協働して考えたりする場面が増えています。学びも「教えてもらう」から「自ら学ぶ」へと変わりつつある今、学びを楽しめるかどうかは、生徒一人ひとりの意識や日常の積み重ねに左右される部分が大きくなっています。

3学期始業式では、学級代表の生徒から、「宿題を十分に終わっていない生徒がいる現状を改善したい」という決意表明がありました。授業に積極的に参加するためには、宿題をはじめとする予習や復習が欠かせません。得意不得意によってかかる時間に差はありますが、計画を立てて取り組む力は、これから先の学びや生活にもつながる大切な力です。

また、放課後の過ごし方についても、少しずつ整えていく必要がある生徒もいると感じています。あわくら会館での様子を見ると、持ってきていないはずの携帯電話でのゲームやおしゃべりだけで時間が過ぎてしまう姿を見ますが、短い時間でも学習に向かうことができれば、子どもたち自身の安心や自信につながっていくのではないのでしょうか。

学びを楽しむ力は、学校だけで育つものではなく、日々の生活の中で少しずつ育っていくものだと考えています。新しい年の始まりにあたり、学校と家庭が同じ目線で子どもたちを見守り、ともに支えていければ幸いです。

今年度より右ページの「学校の様子」はHPで代替しています。12月は、14件の記事がHPに上がっています。HPも是非ご覧ください。(職員室、校長室前の掲示板にも掲示しています。)

西栗倉中学校



(学校の様子)

<https://www.vill.nishiawakura.okayama.jp/wp/nishiawakurachugakko/>